

パブリックコメント等への対応について(集約)

意見総数115件(71人)

NO	区民の意見等	意見に対する考え方
1	ランドデザインの策定エリアの位置づけは。	ランドデザイン策定エリアについては、新タワー効果が及ぶと思われる35ヘクタールの範囲としました。都市計画マスタープランの広域総合拠点として位置づけることとしています。
2	最大の課題点は、タワーの整備であり、タワーはどんなコンセプトで建設するのか。	新タワーのコンセプトについては、事業主体である新東京タワー株式会社が決めることとなります。今後、早期の公表を申し入れていきます。
3	大型開発が行われるが、下町の粋を感じさせるまちづくりを望む。	ランドデザインのコンセプトである「下町文化創成拠点」のもと、下町文化を感じさせるまちづくりとなるよう取り組んでいきます。
4	先端性だけが強調されているが下町文化創成拠点というコンセプトを実際に体験できる場所はあるのか。	下町文化を具体的に体験できる場所は未定ですが、今後下町文化を体験あるいは感じられるまちづくりとなるよう取り組んでいきます。
5	墨田区は下町でお祭りも盛んなことから、新タワーゾーンにお祭り広場を作って欲しい。	新タワーゾーンの開発については事業者である東武鉄道(株)が行いますが、地域住民がお祭り等に防災広場を活用できるよう申し入れていきます。
6	新タワー予定地内に博物館等の建設を希望する。	新タワーゾーンの開発については、事業者である東武鉄道(株)が行います。ここに区が博物館等を建てる予定は現時点ではありません。
7	歴史的資産(水・緑・名所・旧跡)をアピールして欲しい。	ランドデザインのコンセプトである「下町文化創成拠点」のもと、歴史的な資産を活用した観光施策に取り組んでいきます。
8	新タワー建設に伴い新しい「隅田川八景」選定を提案する。	新タワーを軸とした観光施策の一環として参考にさせていただきます。
9	総花的で何がやりたいかわからない。(夢のような話に思える。)	このランドデザインは、押上業平橋駅周辺地区及びその周辺地域について区として将来都市像を提示することを目的としています。なお、現在の都市計画マスタープランの見直しの先取りとしています。
10	具体的なイメージがわからないため、いろいろな方の意見を聞いて世界のタワーに相応しい整備方針の作成を進めるべき。	今後、様々なご意見等を参考にして、ランドデザインサインに反映していきます。
11	企業のためのまちづくりのような気がする。個人が豊かに暮らせるものにして欲しい。地域の実情に合わせたまちづくりを希望する。	ランドデザインの実現にあたっては、地域の皆様との協働のまちづくりが必要です。今後も引き続き地域の皆様の意見を参考にまちづくりに取り組んでいきます。
12	新タワーは必要ないのになぜ誘致したのか。また、大企業の開発は地元商店街にはマイナスになるのに、なぜ区は賛成するのか。	新基本構想では観光都市を目指しています。これまでの歴史と文化に根付いた観光資源に加え、新たな観光空間として新タワーを誘致しました。また、大規模開発を適切に誘導していくため、まちづくりランドデザインを策定しました。なお、地元商店街の活性化等については今後も引き続き取り組んでいきます。
13	このランドデザイン策定に伴い地区計画を考えていると聞くと、補助金や助成金等の財政的な誘導策はあるのか。	地区計画はその地域の建築やまちづくりのルールを定めるものです。したがって補助金等の助成はありません。
14	近隣地域、特に浅草・吾妻橋地域との連携が必要ではないか。この地域との一体的なランドデザインを作成することをお願いする。	浅草との連携については、現在台東区と協議を重ねています。具体的なものはこれから検討してまいります。他区を含めた一体的なランドデザインを作成することについては、墨田区及び台東区それぞれが都市計画マスタープランにより将来都市像を定めることとなっていることから困難です。
15	肢体に障害を持っている方も楽しく遊べるように、ホスピタリティーのゆき届いた開発にして欲しい。	ランドデザインにおいて「人にやさしい移動しやすいまち」というまちづくり方針がありますので、この実現に向けて検討してまいります。また、開発される施設内につきましては、開発事業者に対して配慮を申し入れていきます。
16	年間500万人、1日12万人の来街者の計算根拠について知りたい。	新タワー事業者である東武鉄道(株)の公表したものをさせていただきました。
17	観光情報の提供など情報発信拠点を望む。	観光情報の発信などについては、今後の観光施策の中で展開してまいります。
18	このランドデザインエリアに居住している(「にぎわいゾーンに住んでいる」「川の近くに住んでいる」「機能再生ゾーンに住んでいる」など)が、立ち退きをしなければならないのか。	このエリアの将来イメージをお示しているもので、行政から立ち退きを要求するものではありません。
19	立体防災広場の整備とあるが公的な使用が可能となるのか。また、東武橋や京成橋近くの方が中心近くにあるよりいいと思うがどうか。	日常的にはイベントや来場者の憩いの場として活用され、災害時には避難広場として利用できるものとなるよう事業者と協議してまいります。また、場所についても効果的な位置となるよう協議してまいります。
20	雨水利用、屋上緑化などの環境施策の推進と防災シンボルが融合されたまちづくりを望む。	ランドデザインでの「安全安心で災害につよまち」「地球にやさしい水とみどりのまち」というまちづくり方針に基づき、実現に向け取り組んでいきます。なお、事業者へも申し入れていきます。
21	緑の整備について(歩道の植栽等。木を植えて欲しい。森が欲しい。)	ランドデザインでの「地球にやさしい水とみどりのまち」というまちづくり方針に基づき、実現に向け検討してまいります。
22	川風を取り入れるなど、緑と水を活かした涼しいまちづくりを実現して欲しい。	ご意見の趣旨を踏まえ、今後の検討課題の一つにさせていただきます。
23	観光客によるごみのポイ捨てなどの問題についてはどう考えるのか。	基本的には観光客のマナーに頼ることとなりますが、ごみ等の問題については、重要課題として取り組んでまいります。
24	タワーによる風害、交通問題などの環境問題に対する取り組みについて聞きたい。	新タワーの開発に伴う環境問題に関しては、環境アセスメント等により、指導してまいります。

25	交通渋滞が予想される。このエリアに駐車場をつくるのではなく、エリア外に駐車場を望む。	交通量の増加など交通問題に関しては、重要課題でありますので、区としても適切に事業者指導に取り組んでいきます。
26	車を排除した交通アクセスの実現について。	車の流入を規制することは困難であると考えますが、少し離れた場所での駐車場の確保についても事業者申し入れていきます。
27	このランドデザインの中には駐車ゾーンが無いがどうか。	車で来場者のため、駐車場の設置については検討されるものと考えます。
28	押上通りの拡幅と記載されているが、タワー開業となると交通量が増えるので早く拡幅して欲しい。	都が管理する道路については拡幅の優先順位が定められていますが、今後、都と協議・検討していきます。
29	言問通りの業平駅前の重点整備。また、浅草通りと四つ目通り交差点の整備促進について。	言問通り、浅草通り、四つ目通りについては都の管理ですが、都と協議・検討していきます。
30	ランドデザイン策定エリア外でも言問通りの舗装工事をして下さい。	言問通りは都の管理ですので、都に申し伝えます。
31	タワーまで続く道路に、タワーにマッチした案内板を設置して欲しい。	今後観光ルート整備の中で検討していきます。
32	ランドデザインに書かれている南北通路について、自転車道と歩道を完全に分離することを望む。	南北通路の設置については、ご意見を踏まえ検討していきます。
33	区内全域における放置自転車禁止	ランドデザイン策定エリアだけの問題ではなく、墨田区全体での検討課題ですので、担当課に申し伝えます。
34	街区の駐輪施設は鉄道利用者にとっては便利だが、中央エリア地区全体で考える必要があるのではないか。	現在の駐輪場に代わるものとして設置を考えています。なお、鉄道利用の来街者が利用できるレンタサイクルの併設等も検討しています。
35	都市高速鉄道8・11号線の延伸の早期実現を望む。	都市高速鉄道8・11号線の延伸については、広域的な交通アクセスの観点からも推進していきたいと考えます。
36	新たな交通機関の検討に「ゆりかもめ」を入れて欲しい。	ゆりかもめの延伸については、関係区との協議も含め難しいと考えます。なお、新たな交通機関については、具体性、実現性を踏まえて検討していきます。
37	区内循環バス路線の検討を望む。	広域的な都市施設の整備方針の中で、循環ミニバス、舟運など新たな交通機関として検討していきます。
38	成田エクスプレスを錦糸町に停車させることを望む。	関係機関と調整を図り、協議、検討していきます。
39	京成線と都営押上駅について、観光客対策はどうか(ホームが狭いのでは)。	観光客など利用者の増加が見込まれますが、現状の形態の変更には相当大規模な改造が予想されます。なお、区としては、業平橋駅と押上駅との接続改善が必要と考えていますので、今後鉄道事業者に対し申し入れていきます。
40	観光都市すみだを実現するためにもバス、船、その他での回遊性を考えて欲しい。	観光施策と併せ交通ネットワークの検討に取り組んでいきます。
41	北十間川の舟運を実現して欲しい。	ゾーン別整備方針にも記載しましたが、今後、実現に向けて検討していきます。
42	隅田公園とお台場を結ぶ高速船の就航を望む。	現在、都観光が運行している水上バスの活用等を含め、今後の検討課題にさせていただきます。
43	北十間川に人道橋を1つ架けることであるが、3つくらい架けて欲しい。	北十間川の南側から新タワーゾーンへのアクセスや防災上の見地から人道橋の設置を考えました。設置については、行政の負担や新タワーゾーンでの開発事業者との協議が必要となりますので、3つ架けることについては、難しいと考えますが、今後の検討課題にさせていただきます。
44	大横川に水があるように描かれているがどうなるのか知りたい。	大横川親水公園につきましては、水と緑ゾーンとして色分けしたものであります。なお、整備方針としての河川空間の活用から、快適な歩行者空間の整備に取り組んでいきます。
45	隅田川の遊歩道を桜橋から両国まで連続化をして欲しい。	隅田川の管理は都が行っており、都に申し入れます。
46	線路の高架化とされているが、どこまでできるのか具体的に知りたい。	押上の大踏切の解消と鉄道の南北地域の一体化を目指すものとして、記載したことをご理解ください。なお、今後、実現に向けた関係機関等との協議が必要となります。
47	浅草松屋のタワー用地内への誘致を望む。	現在他区にある民間施設を誘致することについては、様々な弊害があり困難であると考えます。
48	銀座線の乗り入れの検討して欲しい。	銀座線の乗り入れについては、車両の規格が違うことや現在のトンネルの深さでは隅田川をくぐれないなどの理由から困難であると考えます。
49	高速道路の地下化の検討して欲しい。	非常に難しい問題ではありますが、長期的な課題の一つとして、今後時間をかけて関係機関と協議していきます。
50	電線の地中化について。	区画整理事業区域内は地中化することで進めています。また、他の幹線道路については、都や関係機関等と協議していきます。
51	浅草通りより100mくらい南までにぎわいゾーンに入れた方がいい。	にぎわいゾーンについては、幹線道路が歩行者ルートとして重要な位置づけとなるものとして、歩いて楽しいにぎわいのある街並みとなることを目指したものです。このため浅草通りから20メートル程度の区域を考えています。

52	新タワーゾーンと機能再生ゾーンを結ぶ横断通路が描かれているが、どの辺りにいつできるのか。	設置場所や設置時期については、現時点では未定であり、今後、重要課題として東武鉄道(株)と協議していきます。
53	大勢の人が訪れることを想定しているが、本当に多くの人がこの防災広場に避難できるのか。また、この広場から川を渡って南側に避難するのに人道橋がひとつで対処できるのか。	防災広場の規模等については、今後、新タワーゾーンにおける開発事業者と協議していくこととなります。また、人道橋については、河川整備と併せ地域の回遊性と防災上の観点から検討していきます。
54	駅前に良好な区営住宅の建設を望む。また、生活支援センター、託児所等を望む。	駅前に区営住宅を建設し、また生活支援センター等を建設することについては、駅前立地を活かした商業施設等の土地利用が相応しいと考えており、現時点では駅前に区営住宅等の建設は難しいと考えます。
55	新タワーの周りは環境にとっても中低層を中心に開発した方がいいと思うがどうか。	新タワーゾーンの開発については、事業者である東武鉄道(株)が行いますが、周辺環境に配慮した計画とするよう区としても適切に指導していきます。
56	にぎわいゾーン周辺でのマンション建設や住宅の建て替えの際に規制が生じるのか。	例えば、街並みを統一するために高さを規制するなど、地域の皆様でまちづくりのルールを決めた場合には、建替えの際に規制が生じる場合もあります。
57	治安の面について(観光客や建設中の労働者等の増加が予想されるなど)。	治安については、安全・安心のまちづくりを進めるための対応策など、関係機関と今後、協議、調整していきます。
58	性風俗関連は規制すべきだ。	区画整理事業地区内においては、地区計画を定めて規制する方向で検討しています。また、その他の区域においても、同様に地区計画を定めることにより規制することができます。
59	電磁波の影響はどのようなものか。	国の基準となる電波防護指針の遵守により、安全性は確保できるとされています。
60	このグランドデザイン説明会に、東武鉄道の出席がないのはおかしい。(新タワーの事業主体に関する質問を含む)	グランドデザインは、区の立場で押上・業平橋地区とその周辺の将来都市像をお示しすることが目的です。そのため、東武鉄道(株)は出席していません。